

がまき 議会だより

第90号
平成26年11月1日号



さあ始めよう！運動会
(上牧小学校)

TOPICS

25年度決算	2・3
9月定例会	4～5
議決結果	6
一般質問	7～10
インターネット中継	11
市町村長サミット	12
議会日誌	12

決算特別委員長報告

平成25年度の会計決算 全会計決算を認定

平成25年度の決算特別委員会（委員長・木内議員）は、ほか委員5名（富木、康村、辻、吉中、東）で9月10日から12日の3日間行われた。

同委員会に付託された会計は一般会計、国民健康保険特別会計、後期高齢者医療特別会計、住宅新築資金等貸付事業特別会計、下水道事業特別会計、介護保険特別会計、水道事業会計の7会計で、それぞれの会計決算について慎重審議の結果、全委員異議なく原案のとおり認定した。

一般会計

平成25年度決算の歳入総額は前年度に比べ62・5%の増、歳出総額は62・9%の増である。

実質収支額は2億8,113万円の黒字となり、単年度収支は2,332万円の黒字となっ

た。経常収支比率は、1・5%悪化し91・4%である。

決算総額増加の要因は、土地開発公社解散に伴う借入と債務保証（42億円）を行ったことと、学校耐震化等の平成24年度の繰り越し事業約10億円を含むためである。他の特徴は、大型店舗出店に伴い、都市計画道路2路線が完成したことである。



住民負担軽減に努めた

平成25年度では全会計で黒字決算となった。町長の感想、総括は。

平成25年度については、学校の耐震化・大規模改修工事事業や通級指導「ことばの教室」も開設できた。そして、子ども医療費無料化も小学6年生までの拡充を行った。また、国民健康保険特別会計では、被保険者にご負担をかけているが、近年では財政調整基金にも一定の積み上げができたため、資産割の税率を50%から20%に、平等割りで1万円の引き下げを行うなど、住民皆さんの負担軽減に努めてきた。

厳しい財政状況ではあるが、町職員が一丸となって取り組んできた結果であると実感している。

大口納税者の滞納が発生

固定資産税の収入済額は7億1,847万6千円であり、前年度比1,385万5千円マイナスで1・9%の減となっている。また、収入未済額は1億

3,125万6千円と計上されているが、それぞれの原因について。

固定資産税については、大口納税者の滞納が発生し、徴収率が大きくダウンしている。年間数千万円の納税者であったが、平成25年度内の納税者は、その3分の1、残り3分の2が年度内に納付してもらえなかったというものであり、以後、分納誓約を取り付け、平成26年8月までは誓約どおりに納付されている状況である。

日常の買い物に苦慮

服部台のスーパー近商そして片岡台のスーパー万代がそれぞれ閉店となった。近隣住民、特に高齢者からは日常の買い物に苦慮しているとの声が寄せられている。よって、巡回バスの土曜、日曜、祝日の運行を求めらるが。

現在、検討しているところである。

国民健康保険特別会計

平成25年度決算時における

平成25年度各会計別決算額

		歳入合計	歳出合計	平成26年度へ繰越す財源	実質収支額（黒字額）	
一般会計		125億2,663万円	120億4,585万円	1億9,965万円	2億8,113万円	
特別会計	国民健康保険	29億1,562万円	27億6,435万円		1億5,126万円	
	後期高齢者医療	2億4,926万円	2億4,282万円		644万円	
	住宅新築資金等貸付事業	482万円	452万円		30万円	
	下水道事業	6億1,257万円	6億687万円	2万円	568万円	
	介護保険	保険事業勘定	13億5,036万円	13億1,504万円		3,532万円
		介護サービス事業勘定	1,681万円	953万円		728万円
水道事業会計	収益的収入支出	4億8,379万円	4億2,934万円		5,445万円	
	資本的収入支出	3,854万円	4,880万円		▲ 1,026万円	

財政調整基金残高は4億1,925万5千円となっているが、同基金の今後の推移、運用についてはどのように考えているのか。

答 平成29年度を目途に国保運営が市町村から県に移行することになっている。しかし、国、県からは何も指示がなく、平成26年度から基金の活用をどのようしていくのか判断はできない。基金は4億円程度で推移するものと考ええる。

問 滞納繰越分の徴収率は一般被保険者分では13・5%、退職者被保険者等では14・4%と現年度分比べ極端に低い。

また、不納欠損額は1,481万3千円と直近の3年間では、ほぼ同額が毎年、欠損処分されている。要因について。

答 要因は様々であるが主としては、生活困窮、転出、所在不明、死亡などである。

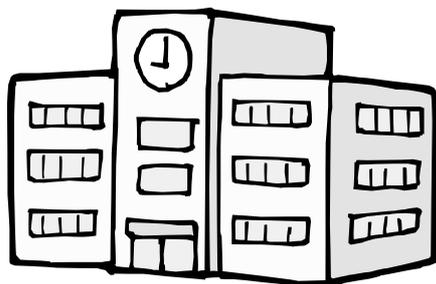
下水道事業特別会計

公共下水道事業は、梅ヶ丘・服部台地区と町道桜ヶ丘新町線

の一部で行われた。

問 不良管路の補修を計画的に行うため、調査が行われたが結果はどうであったか。

答 町内全域で全長3・77kmについて調査した。補修の緊急度から3分類したが、健全と判断された管路は全体の3・8%。



総務建設委員長報告

■上牧町政治倫理等の一部を改正する条例

「上牧町政治倫理条例」は、平成14年に議員提案により成立した条例です。今回「土地開発公社」の精算結了を受けて「土地開発公社」の文言を条例から省きます。

■上牧町議会議員及び上牧町長の選挙における選挙公報の発行に関する条例の制定

町長及び町議会議員の立候補者は、氏名や経歴、公約等を掲載した選挙公報を発行するものです。

■全国の町村での公報の発行の状況は。また、公職選挙法では、立候補届けの受付終了後、投票日の2日前までに、全戸に配布することになっているが配布は大丈夫なのか。

■県内では、山添村だけである。配布体制については、シルバー人材センターに依頼する。

■平成26年度一般会計補正予算(第2回)

2億5,870万円増額

■不動産売却収入の1,743万円について、売却単価が1㎡あたり、3万2千円になっているが、算定方法は。

■土地開発公社から引き継いだ土地であり、平成25年に土地開発公社で鑑定した価格を基に、平成26年6月に時点修正した。

■土地開発公社解散に伴う返還金、1,051万円は、どのように措置されるのか。

■第三セクター等改革推進債償還基金に積み立てる。

■弁護士料、105万円について説明を求める。

■町有地(上牧4160番他、小集落地区改良事業の宅地)に不法投棄された土砂及び建築廃材等の撤去を求める訴訟にかかる費用。

■住宅使用料滞納整理システム導入作業委託料538万円について。

■これまで住宅使用料の滞納状況は、紙ベースで管理してきた。今回、システム化すること以一層管理強化に努める。

■社会保障、税番号制度に係る中間サーバー運営事業負担金98万円、国民総背番号制の運用開始は。

■平成29年7月から地方公共団体の情報連携が始まる。

■ごみ中継施設実施設計業務委託料2,000万円の説明を求める。

■平成28年4月から、ごみ可燃全量委託を予定。委託に向けた設計や土質調査にかかる費用。

■住宅管理修繕料500万円について。

■町営住宅第5住宅の2戸第6住宅3戸の改修費。

■平成26年度住宅新築資金等貸付事業、特別会計補正予算(第1回)

■訴訟の提起について

以上5議案について採決の結果、いずれも全委員異議なく可決すべきものと決しました。

■奈良県への陸上自衛隊駐屯地の配置要望に反対する意見書(案)

堀内委員より近年、気象条件等の変化もあり、大災害が多発している。災害救助に自衛隊の派遣は必要であると考え。との、反対討論があり、起立採決の結果、賛成少数で否決しました。

文教厚生委員長報告

■上牧町ひとり親家庭等医療費助成条例の一部改正

これまで母子対象が父子も対象となります。

■上牧町家庭的保育事業等の設置及び運営に関する基準を定める条例

子ども・子育て支援新制度に

伴う条例制定です。

小規模保育・居宅訪問型保育・事業所内保育事業等があり、3歳未満児を対象とし、規模は19人以下です。

町が認可するための基準（人員配置や面積など）を定めています。

■特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例

認定こども園・幼稚園・保育所・家庭的保育事業について、施設や事業者として適格か確認する基準を定めています。

■上牧町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例

施設の面積・職員・開所時間など、学童保育事業の基準を定めています。

■平成26年度国民健康保険特別会計補正予算(第1回)

前年度繰越金 1億5,126万円
基金残高 4億5,117万円
国保税引き下げの考えは。

答 資産割をなくす予定だが、29年度に県に統一・移行されるので県の動向を見極めて考える。

■平成26年度介護保険特別会計補正予算(第1回)

問 生活・介護支援サポーターの内容は。

答 医師・保健師・ボランティアを予定している。有償かどうかは第6期介護保健事業計画で検討する。

■平成26年度後期高齢者医療特別会計補正予算(第1回)

■平成26年度下水道事業特別会計補正予算(第1回)

■ウイルス性肝炎患者に対する医療費助成の拡充を求める意見書

東議員より、3名の賛成者と共に提案がありました。

■危険ドラッグ(脱法ハーブ)の根絶に向けた総合的な対策の強化を求める意見書

長岡議員より、7名の賛成者

と共に提案がありました。

以上10議案について採決の結果、全委員異議なく可決しました。

委員会付託しなかつた議案

■上牧町土地開発公社清算結了の報告

町土地開発公社は、7月2日残余財産1,051万4千円を町に引き渡し、清算を完了しました。

小泉 武司さん(再任) 片岡台2丁目
東谷 静一さん(新任) 下牧3丁目

■教育委員会委員の任命

次の方が原案どおり同意されました。

■平成25年度西和消防組合一般会計決算

西和消防組合の解散に伴う決算を原案どおり承認しました。

■固定資産評価審査委員会委員の選任

次の方が原案どおり同意されました。

川本 克己さん(再任) 9月18日・19日
友が丘1丁目 全員協議会
吉川米義 議員 (9月2日)



平成26年9月 定例会の議決結果 (平成26年9月5日～9月24日)

議 案 名	議決結果	康村	長岡	辻	富木	石丸	堀内	吉中	木内	芳倉	吉川	東	服部
		昌史	照美	誠一	つや子	典子	英樹	隆昭	利雄	利次	米義	充洋	公英
◎上牧町土地開発公社清算結了の報告について	報 告	報告のため採決しない											
◎平成25年度上牧町一般会計歳入歳出決算認定について	原案承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
◎平成25年度上牧町国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について	原案承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
◎平成25年度上牧町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	原案承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
◎平成25年度上牧町住宅新築資金等貸付事業特別会計歳入歳出決算認定について	原案承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
◎平成25年度上牧町下水道事業特別会計歳入歳出決算認定について	原案承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
◎平成25年度上牧町介護保険特別会計歳入歳出決算認定について	原案承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
◎平成25年度上牧町水道事業会計決算認定について	原案承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
◎平成25年度西和消防組合一般会計歳入歳出決算認定について	原案承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
◎上牧町政治倫理条例等の一部を改正する条例について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
◎上牧町ひとり親家庭等医療費助成条例の一部を改正する条例について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
◎上牧町家庭的保育事業等の設置及び運営に関する基準を定める条例の制定について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
◎上牧町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の制定について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
◎上牧町放課後児童健全育成事業の設置及び運営に関する基準を定める条例の制定について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
◎上牧町議会議員及び上牧町長の選挙における選挙公報の発行に関する条例の制定について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
◎平成26年度上牧町一般会計補正予算(第2回)について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
◎平成26年度上牧町国民健康保険特別会計補正予算(第1回)について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
◎平成26年度上牧町後期高齢者医療特別会計補正予算(第1回)について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
◎平成26年度上牧町介護保険特別会計補正予算(第1回)について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
◎平成26年度上牧町住宅新築資金等貸付事業特別会計補正予算(第1回)について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
◎平成26年度上牧町下水道事業特別会計補正予算(第1回)について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
◎訴訟の提起について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
◎上牧町固定資産評価審査委員会委員の選任について	原案同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
◎教育委員会委員の任命について	原案同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
◎教育委員会委員の任命について	原案同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
◎ウイルス性肝炎患者に対する医療費助成の拡充を求める意見書	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
◎奈良県への陸上自衛隊駐屯地の配置要望に反対する意見書(案)	否 決	●	●	●	●	○	●	●	●	●	●	○	○
◎「危険ドラッグ(脱法ハーブ)」の根絶に向けた総合的な対策の強化を求める意見書	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

議長は採決に加わりません

※議長は採決に加わりません

○賛成 ●反対 一除斥 ×棄権 空白は欠席

町財政、まだまだ楽観出来ない

—将来負担比率191%が物語る—



堀内 英樹

問 25年度決算で将来負担比率が191%となっているがどうか。

答 毎年、起債の償還が行われており、緩やかであるが低下している。24年度実績で奈良県平均が109%、全国平均が60%と比較すると高い。(将来負担比率は、上牧町の財政規模を100%とした場合の今後の負債総額の割合。地方債の残高や退職手当予定額等が含まれ、高い数値ほど将来負担が重い)

問 町財政を人の健康状態に例えると、危篤状態で集中治療室、一般病棟を経て退院したものの、まだ通院中で「経過観

察」であるが…

答 将来的にもこの数値が下がって行かなければ、財政が硬直化するのは明らかである。上牧町の財政規模は70億円であるが、国の財政難や人口減少を考えた場合、10年後に同じ規模の予算は編成出来そうにない。そうすると地方債の残高等が大きく影響してくるのは当然である。そうしたなかで、我々に課せられた任務は、住民福祉の向上であり、その責任は果たして行かなければならない。全て出来るわけではないので、優先順位を付しながら、安全運転に徹して行かなければならない。



東 充洋

クラブ活動の充実と施設の改修を

問 8月12日に第2回子ども議会が開かれた。12名の中学生議員が本会議場で緊張しながらも堂々と学習のためのIT機器の導入やクラブ活動の環境に予算を増やしてほしい等の要望が出された。

私は、両中学校を訪問、子ども議員や先生と懇談し、それぞれの要望を詳細に伺った。テニスコートの金網の支柱が腐食また、水捌けが悪いや体育館の照明の不備があり、改修を要望。また楽器の修繕料が高額な為、予算の増額やそれぞれのクラブの公式試合の費用をレギュラー



選手だけに支給されるのではなく全てのクラブ員に適用してほしいと要望があった。見解を伺う。

答 各学校施設については、計画中のものや体育館の照明は見積発注している。楽器の修繕については古い楽器を大事に使ってもらっており予算の増額を考えている。クラブ活動費も増額を検討する。



辻 誠一

地震は不意打ち、備えは十分か？

－ 防災対策 －

問 奈良県の直下型地震の想定もあり、不意打ちから町民を守るため、行政には強い指導力が求められる。本年度新しくなる上牧町防災会議は、機能しているのか。

答 地域防災計画書の見直しが終わり、開催時期は今年度末頃の予定をしている。

問 2小体育館で、校区内有志の自治会長他、ボランティアが、災害避難所開設訓練(子どもサバイバルキャンプ)を、町の助成を受けて行った。目的は体育館の避難所としての機能検証と、次世代の地域担い手育成である。

答 その中で学校・PTA側と総務課とに



温度差あった。一元化の取組姿勢が望まれる。

答 防災は総務課が統括し、現場は教育側をお願いしている。

問 避難所の学校にかまどベンチを設置すべきと考えるが。

答 現在は考えていない。

問 非常時の協力民間業者のその後は。

答 アピタと物質と避難場所提供の協定を結んだ。

県道王寺・田原本・桜井線 滝川周辺に信号機の設置を



芳倉 利次

問 最近、中和幹線の開通、また町内に大型店舗が開店、その他にも多くのお店ができています。ますます県道王寺・田原本・桜井線の車の通行量が増加しています。

答 周辺住民の安全を守るため信号機の設置が緊急の課題であります。

問 ご指摘の交差点につきましては、横断者が多く、危険な交差点であることは認識しております。

答 そのことから平成23年11月29日に、奈良県警察本部の交通規制課、所轄の西和警察、道路管理者の高田土木事務所、そして上牧町と現地関係者が交差点に集まりましたが結論が出ず、専門的なコンサルタント対策案を検討することになりました。しかし信号機の設置には至りませんでした。

高田土木事務所 においては、道路管理者の権限で行える対策だけでも早期に実施するとして、看板・路面の注意表示・交差点の赤色舗装工事などを行っていただいております。

一般質問で指摘をいただいたことも申し添えて、重ねて信号機や横断歩道の設置を要望してまいります。



康村 昌史

ラウンドアバウト(環状交差点)の推進を

問 信号機がない、円形の交差点を環状交差点と呼び、通常3本以上の道路を円形のスペースを介して接続した道路のことである。その概要は、1、円形の交差点のうち環道の交通が優先。2、環道交通は、時計回りの一方通行、信号や一時停止の規制がない。3、環道に流入する車両は徐行、環道に通行車両がなければ一時停止する必要はなく、環道に流入可能。

答 その長所と欠点は。長所は①環状交差点は通行時に速度が落ちやすい②時計回りの一方通行で、右折車と直進車の接触がおきず、重大事故の抑止効果がある。③信号機がないため停電時も混乱が起きにくい。欠点は、交通量の多い都市部では機能しない。

問 通常信号機の設置費用は。

答 都道府県の公安委員会が設置・管理するが、情報が少なくよくわからない。しかし、アピタ前の信号機の設置費用は、約1千万円と聞いている。

問 上牧町も環状交差点を考えては。

答 今後全国に普及していくと思われる。他の市町村の動向をみて検討する。



富木 つや子

—納税者の観点で—

税金の納期を3期から4期に

問 町民が納付しなければならぬ税金は多種にわたり、時には、思わぬ出費により予定していても納めることができないこともある。納税者の観点からも1回当たりの家計の負担が軽減されるよう、納付回数を増やして納付しやすいように、検討をお願いしたい。

答 県下では、国保は年8回納期で同じであるが固定資産税、県民税は、43市町村が4期、5市町村が3期の納期状況で、当町は3期である。

問 徴収課では、毎日数名からの滞納の分納相談も受けている状況である。少しでも収めやすく、期日内納付に繋がるように、納期を4期に見直すお考えは。

答 多くの市町村が4期の納期である。納税者の負担軽減を図るためにも、関係課と調整して、来年から実施する。

他の質問として

①防災会議に女性委員の登用

②幼稚園の教室にエアコン設置

③健康について、人間ドック・脳ドック助成

④若者の定住促進対策

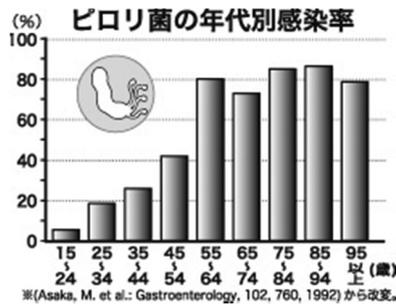


長岡 照美

胃がんの約8割が ピロリ菌の感染が原因

—早期の胃がん対策を—

問 上牧町の胃がん検診や特定健診と一緒にピロリ菌検査の導入やオプショナル検査の導入を。
答 現在、上牧町で行っている胃がん検診には、オプショナル検査で肺がん、結核、大腸がん検診を行っており同時に特定検診も行っている。ピロリ菌検査も含めて胃がん予防を検討していきたい。



胃がんは60歳を超えると急速に発生が増加します。日本の胃がん患者のうち、50歳未満は3%で97%が50歳以降に発症します。現在対策が最も必要なのは50歳以上の方です。また、10代20代では感染率は10%前後です。除菌すれば胃がんを含む胃の疾患を抑えることに繋がります。特定年齢の方への助成もひとつと考えて頂きたいと思いますが。

答 成人式にピロリ菌検査をしている市があります。20歳と40歳の特定年齢の方にピロリ菌検査をしているところもあり、今後考え検討したい。

気温管理は健康管理でもある

教室にエアコン設置を求める



木内 利雄

問 上牧町立小中学校の教室すべてにエアコン設置を求める。近年、日本の夏季は異常とも言える高い気温が続いている。文部科学省が示している学校環境衛生基準では「児童生徒に生理的、心理的に負担をかけない最も学習に望ましい条件は、冬期で18〜20℃、夏期で25〜28℃程度である」と明記されている。

県内のある市の調査結果(14時測定・平均・教室内)では、7月1日〜7月20日で32.3℃、8月25日〜8月31日で33.6℃となっており、文部科学省が示している「学習に望ましい条件」の数値を大きく超過している。気温管理は健康管理でもある。町当局の見解を伺う。
答 私(今中町長)も理解している。昨今、これだけ気温が上がってくると、あのコンクリートの教室内で児童生徒も勉強に集中できないというのは当然の話である。すぐさま全教室にエアコン設置というのは財政的に不可能なことなので、順次実施していくという考えのもと、中長期財政計画を見直しながら、担当者に指示をし、財政計画はどのようになっていくのか、検討をさせる。

インターネット中継と選挙公報

上牧町議会は、いま急ピッチで変わりつつあり、いずれもキーワードは町民と議会あるいは議員との「情報の共有」です。一つは本会議（4日間）の実況中継をインターネットで試験配信が始まりました。二つは27年4月実施の町議会議員選挙で選挙公報が町内全戸に配布されることになりました。



パソコン・モニター画面より

議会インターネット中継が始まる
議会のインターネットにより「本会議の実況、同時に世界中で視聴可能！」となりました。インターネット環境が年々進化し、パソコンに限らず、タブレット端末やスマートフォンでも手軽に視聴できます。

上牧町議会ではこれまで、本会議や委員会の実況中継を町役場ロビーのモニターで放映してきました。この中継設備をできるだけ活用し、最小限の追加費用（26年度当初予算312万円）で準備を進めてきました。

なるべく費用を掛けないで実に踏み切ったことから、いくつかの点でガマンしなければならぬ条件も残されています。先ず、撮影には固定のアナログカメラ2台を使い画面構成は上下2分割（上が理事者席、下が議員席）になっています。配信媒体として「USTREAM」（ユー



インターネット中継の設備

ストリーム）無料版を使用しており、広告入りの画面となりますがご理解下さい。

「USTREAM」無料版の利点として、録画中継機能が付加されていることです。画面の一部に「過去の番組」欄に実況中継一覧が表示されており、この中から選択して視聴することが可能です。

議員選挙に選挙公報発行決まる

27年4月に実施される上牧町議会議員選挙から選挙公報が配布されることになりました。上牧町の

議会議員選挙や町長選挙における選挙公報の発行を義務づける条例が成立しました。

選挙公報は、対象となる選挙に立候補した候補者全員の政見や経歴等を候補者が作った内容で選挙管理委員会が発行する文書です。投票日の2日前までに有権者宅に配布されます。

衆・参議院選挙や知事選挙については、公職選挙法で義務づけられています。他の選挙については、条例を制定することで発行することになっています。全国町村での選挙公報の発行はまだ少数です。

26年4月に制定された上牧町まちづくり基本条例でも、上牧町の議会議員選挙や町長選挙における選挙公報の発行を努力規定としており、今回の条例制定で義務化されたものです。

公職の選挙については、買収行為や戸別訪問等の選挙違反が後を絶ちません。有権者が政策や人物等を判断するうえで、選挙公報の発行は望まれるところです。

第3回奈良県・市町村長サミットに参加

8月25日（月）桜井市立図書館において、荒井知事をはじめ県議会議員、市町村議会議員など多数参加して、日本創成会議座長で元総務大臣・増田寛也氏による「人口減少社会における市町村のあり方」と題した講演が行われました。日本の人口は2008年の1億2,808万人をピークに減少に転じており2050年には9,708万人と推計されています。



全国の5割を占める8966の自治体で2040年までに20〜39歳の若年女性が半分以下に減り、「将来消滅する可能性がある」と試算しています。

人口減少の要因は、若年女性の減少と地方から大都市圏（特に東京圏）への若者の流出の2点とされ、少子化対策と東京一極集中対策を同時に行う必要があると指摘されました。

上牧町でも2040（平成52）年の人口試算で、総人口は14,316人、若年女性は66・9%減少し、907人になると「日本創成会議」は推計しました。

上牧町は7月10日に人口減少への対策を考える「人口減少問題対策検討プロジェクトチーム（メンバーは20〜39歳の若手・中堅職員計34人）」を設置しました。今後、定住人口の増加に向け、住民が求めていることなどを調査し12月末ごろに今中町長に答申する方針です。

議会日誌

- （7月）
- 7日 差別をなくす町民集会
- 8日 広報委員会
- 9日 正副議長研修会
- 11日 監査委員研修会
- 14日 広報委員会
- 17日 広報委員会
- 30日 奈良県民集会
- （8月）
- 1日 議員人権研修会
- 5日 全員協議会
- 11日 議会改革検討委員会（第3回）
- 12日 子ども議会
- 18日 葛城地区清掃事務組合議会
- 25日 市町村長サミット
- （9月）
- 2日 全員協議会
- 3日 議会運営委員会
- 5日 第3回定例会（初日）
- 8日 総務建設委員会
- 9日 文教厚生委員会
- 10日〜12日 決算特別委員会
- 18日 一般質問（4名）
- 19日 一般質問（4名）
- 24日 第3回定例会（最終日）
- 25日 広報委員会
- 議会改革検討委員会（第4回）

編集後記

災害時には対策本部となる庁舎が築後40年近く経過し、老朽化しています。現在、庁舎耐震補強工事が実施されており、身体の不自由な人やお年寄りのためにエレベーター新設工事も行われます。ご不便をお掛けしますが、一日も早い竣工が待たれます。

☎0745-76-11001
 ☎0745-76-11003
 広報委員会

- 委員長 石丸 典子
- 副委員長 辻 誠一
- 委員 長岡 照美
- 委員 富木つや子
- 委員 堀内 英樹
- 委員 吉中 隆昭

次回の定例会は 12月3日開催予定

- ・第4回上牧町議会定例会
平成26年12月3日（水）
午前10時から
- ・議会運営委員会
平成26年12月1日（月）
午前10時から